

サポーター Vol. 4
ファミリーマート
城下町店



8月19日、雲仙諏訪の池ビクターセンター主催「めざせジオパーク博士！」石博士になろう」が開催されました。

島原半島内にある石ころを専用のシートに貼り付け、自分だけの岩石標本を作成しながら、石ころの名前を覚えたり、石垣など私達の暮らしに関わる石ころの利用法を伝

石ころが伝える島原半島の魅力♪

8月1日、姉妹ジョパーク関係にある香港ユネスコ世界ジオパークを島原市の中学生15名が訪問し、現地の高校生12人と交流しました。

このジオパークのみどころは、約1億4千万年前に発生した大規模な火砕流堆積物が、冷え固まる際にできた柱状節理群。中学生たちは、現地の高校生らとともに、ボートからこの柱状節理群を見学した後、離れ小島の

国境を越えた、実質的な交流の継続を！

8月1日、姉妹ジオ

Yim Tin Tsai 村を訪れ、

島唯一の小学校跡や教会
そして重要な産業の一つ
であつた塩田を見学し、
香港の文化を学びました。
現地の高校生に島原市

の見どころを英語で紹介したあとは、高校生達と交流。最後はプレゼントと連絡先を交換しあい、別れを惜しみあつていました。これから、双方の交流が実質的に継続し、互いの地域への理解が深まることを願います。

えました。

その後、模様による石ころの見分け方を紹介し、実際に石を拾いに宮崎鼻へ行きました。参加した子どもも大人も、夢中になってお気に入りの石ころを探していました。

日頃、何気なく見ていた石ころを通じて、島原半島の魅力を知ってもらいイベントになりました。



岩石標本をつくる子どもと大人
 〓雲仙諏訪の池ビジターセンター



香港の高校生達と英語で交流する
島原市の中学生達（右側）
Ⅱ香港特別行政区



ものの浮き沈みを利用した“浮沈子”で遊ぶ
こどもたち＝国見農村環境改善センター

夏の名物・サイエンス★ジオ講座

7月末から8月初旬にかけて、半島内の複数の図書館や公民館で「サイエンス★ジオ講座」が開催されました。家庭にある身近なものを利用した実験を通じて、子どもたちの科学的思考力を高めるとともに、夏休みの自由研究にも役立ててもらうのが狙いで、今年6年目の最初に簡単に島原半島の成り立ちを紹介した後、早速実験。「タマネギを水に入れたら浮くか？沈むか？」等の問いに、みんなで予想をした後、実際にタマネギを水に入れて結果を調べてみるなど、楽しく実験しました。

事務局長、集結！

7月30日～31日、日本
ジオパークネットワーク
(JGN) に加盟する60地域
の事務局長が、一堂に会
する全地域事務局長会議
が開催されました。

今回は、JGNの組織体制や認定審査料・被災地支援等についてグループに分かれて活発に議論を交わしました。

この会議は、世界ジオパーク地域も日本ジオパーク地域も同じ立場で参加するフラットなもので、これからもそれぞれが主体的に関わることを約束して終了しました。



自熱したグループ討議の様子

=東京都

ジオ話
雲仙市役所
林田

林田真明さん

私が住む小浜温泉は長崎半島に面しており、湯治客が蒸気船で渡ってきたという歴史的なつながりから、ちゃんぽんも伝わってきたといわれています。

島原半島は、海と山に囲まれており、あらゆる食材の宝庫でもあります。伝来当時も、身近な食材でちゃんぽんを作ることは容易だったと想像できます。

ちゃんぽん番長だからこそ一言申し上げます。「島原半島の



*** * 9 月 ジオ空教室 * ***



++++ 8月ジオ空教室++++

満明寺にて民話「白雀の乱」の紙芝居をやまびこ友の会が披露し、話の舞台となった福田住職がお寺と地域の歴史を伝えました。さらにDr.オーノが「雲仙にはなぜ地獄があるか?」といった地域とジオの関わりを話しました。参加者は、興味深く聞いていました。



雲仙の魅力を参加者に伝える福田住職Ⅱ満明寺

島原半島の子どもたち、天草GPで学ぶ

8月27日(月)、小学校6年生を対象にした「天草GP子どもジョツア－」を実施しました。子どもたちが天草GPの見学を通じて、島原半島GPとの違いを発見し、地元により関心をもってもらうのが本ツア－の狙いです。見学を終えた子どもたちから、「天草GPの海岸には軽石がないのはなぜ?」、「田んぼや畑ができる場所の違いは?」など嬉しい質問がたくさんありました◎ 今後も地域の「なぜ」を大切に、より地元を好きになってもらいたいです!!

「ジオだより」のメール配信をご希望の方
info@unzen-geopark.jp
 まで、お気軽にお申込みください。



恐竜と対面＝御所浦白亜紀資料館



化石採取の様子＝御所浦